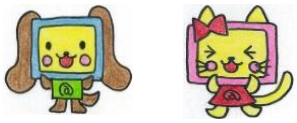
過去の実施事業一覧
も掲載しています！
【32 ページ～】

船橋市　市民公益活動公募型支援事業

事業事例集

令和７年度　実施分



市民協働課 PR キャラクター
@ワン　　@にゃん

船橋市　市民生活部　市民協働課（令和8年8月発行）

目 次

本事例集の発行にあたって ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ

令和7年度 交付実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ

令和7年度 実施事業 全13団体 ()は事業名

1 スペシャルキッズプロジェクト ・・・・・・・ 6 ページ
（スペシャルキッズプロジェクト vol.17 和太鼓ワークショップ）

2 いごっちクラブ ・・・・・・・ 8 ページ
（「囲碁で友だちの輪をつくろう！」）

3 むねあかどり ・・・・・・・ 10 ページ
（『地域の HUB（ハブ）＝つなぎ役に』 高齢社会・障害者福祉の学びと啓蒙）

4 ゴスペル・マムズ ・・・・・・・ 12 ページ
（歌ってハモってリフレッシュ！ ゴスペルワークショップ）

5 はぐくみハグミー ・・・・・・・ 14 ページ
（早めに知って損をしない、社労士から学ぶ障害年金ワークショップ）

6 丸山サンクチュアリ ・・・・・・・ 16 ページ
（大切な市民の森を皆で守り育てよう！！）

7 ハーモニーship ・・・・・・・ 18 ページ
（舞台にあがって、歌って踊って演じてみよう）

8 新世紀美術協会千葉支部 ・・・・・・・ 20 ページ
（こどももおとなも楽しく描こうアート教室）

9 みんなのための労働者協同組合 ・・・・・・・ 22 ページ
（みんきょう、ふなばしに起つ !! －1 周年記念映画会 -）

10 Carry the Right and the Light 子どもの権利と輝きを伝えよう ・・・・・・・ 24 ページ
（何が子どもたちの幸せを奪うのか）

11 かけわたし ・・・・・・・ 26 ページ
（「ふなばし 子ども・若者 まちづくりアクション・プラン」）

12 NPO 法人住管センター ・・・・・・・ 28 ページ
（マンション防災セミナー）

13 船橋市民ミュージカル・カンパニー ・・・・・・・ 30 ページ
（歌って踊って演技しよう！初めての「ミュージカル」体験）

これまでの交付実績（平成22年度～令和7年度） ・・・・・・・ 32 ページ

本事例集の発行にあたって

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対し、平成22年度に創設されました。

本事例集は、事業創設初年度から、事業を実施した団体の協力を得て毎年度作成しています。これまで作成した事例集は、市ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

支援金の種別	支援率上限(※2)			限度額
【Ⅰ型】 市民活動団体が行う、1つの公益的なイベント等の実施に対する支援金	1年目	2年目	3年目	10 万円
	90%	80%	70%	
【Ⅱ型】 市民活動団体が行う、一連の公益的な活動に対する支援金	1年目	2年目	3年目	100 万円
	60%	50%	40%	

令和7年度　交付実績

種別	申込(件)	採択(件)	交付決定(件)	交付(件)	交付額(円)
Ⅰ型	14	12	12	12	613,680
Ⅱ型	4	1	1	1	162,844
合計	18	13	13	13	776,524

事例紹介

（全 13 事業）

団体名	スペシャルキッズプロジェクト		
事業名	スペシャルキッズプロジェクト vol.17 和太鼓ワークショップ	種別	Ⅰ型(3 年目)

課題

・発達障がいや知的障がいのある子どもの家庭は、親子での外出を控えたり、諦めたりすることが多い
・地域のイベントなどに参加しにくく、親子ともに自宅にこもりきりになる傾向がある

事業内容・目的

スペシャルキッズプロジェクト vol.17 和太鼓ワークショップ

【目的】発達障がいや知的障がいのある子どもとその家族が一緒に楽しめる場をつくる

☑ いつ？ 令和 7 年 9 月 27 日(土)
①9:50-10:30
②10:50-11:30
☑ どこで？ 市民文化ホール
☑ 参加者は？ 12 家族 32 名
☑ 講師は？
和太鼓アーティスト USAGI
☑ 参加費は？ 1家族 500 円

☑ 内容は？
・和太鼓に触れ、音を楽しむ
・お題「10 月といえば？」について考え、アイディアを発表
・お題・イメージに合う音を言葉で練習し、和太鼓の音を探しながら表現する
・1 人ずつ和太鼓を演奏
・オリジナルの曲をみんなで作り、発表する

事業費(A)	75,250 円
事業収入	6,000 円

支援金(B)	**52,675 円**
事業費に占める支援率(B/A)	70%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	27,700	4	会場使用料	20,690
2	消耗品費	7,060	1～4 合計(A)		75,250
3	チラシ・ポスター代	19,800			

効果

・参加者の技術の向上から自信が感じられ、安心してのびのびと取り組む様子が見られた。
・講師や参加者が繋がりを持ち、子どもの居場所づくりや絆づくりの場となった。

工夫したこと	①昨年度アンケートで「もう少し長い方が良い」との意見があったことから、開催時間を 40 分とした。②8 月に公民館・図書館等の公共施設へチラシを配架、夏休み期間中に効果的な周知が図れた。③「10 月といえば？」をテーマに、子どもたちが挙げた関連語(かぼちゃ・おばけ・魔女・こうもり・ねこ等)を和太鼓の音で表現し、言葉と音の結びつきを体験した。④ソロ演奏にも取り組み、子ども一人ひとりが自分らしい音を響かせる場面が見られた

担当者より	本年度は、昨年度のアンケート結果を踏まえ、開催時間の延長や公共施設への配架による周知強化を図ったことで、より充実した活動につながったと考える。 また、テーマ設定による創作的な取り組みやソロ演奏への挑戦を通じ、子どもたちが主体的に参加し、表現の幅を広げる様子が見られた。 今後も、参加者の意見を反映しながら、より効果的な運営方法を検討していきたい。

ノリノリの子どもたち笑顔いっぱいです！

ソロ演奏に挑戦

「ハロウィン×和太鼓」オリジナル曲の出来上がり♬

団体概要	
発達の気になるお子さま、発達障がい・知的障がいのあるお子さまとそのご家族を対象に、音楽やアート、スポーツ等のプログラムを企画し、専門の講師を招いてイベントを開催しています。楽しみながらお子さまの長所を伸ばし、支える側の大人たちにとっても支えの場所となることを大切にしています。また、月に一回、障がいのあるひともない人も一緒に参加できる定例ごみ拾いをおこない、地域の人々とつながる機会をつくっています。子どもたちが社会と関わりながらできることを増やしていけるような体験を提供し、障がいによる特性や困りごとについて理解のある、やさしい地域づくりを目指します。	
問合わせ先	氏名: 杉尾麻帆　　e-mail: special.kids.project@gmail.com

団体名	いごっちクラブ		
事業名	「囲碁で友だちの輪をつくろう！」	種別	Ⅰ型(3 年目)

課題

・近所付き合いが少なく、地域の活動がないため、子供たちと交流する機会が少ない
・サッカー等スポーツの活動による交流はあるが、文化的な活動をする場があまりない

事業内容・目的

「囲碁で友だちの輪をつくろう！」

【目的】囲碁の楽しさを実感する
囲碁を通じた近隣地域の子どもたちや保護者の文化的な交流の場の提供

☑ いつ？　令和 7 年 7 月 27 日(日)
☑ どこで？　浜町公民館
☑ 参加者は？　32 名
(子ども 20 人、大人(保護者)12 人)
☑ 講師は？
山下　功氏(ふなばし囲碁協会会長)

☑内容は？
・講師から囲碁の魅力・ルール説明
・模範対局
・プリント問題
・対局を実施。2回目以降は新しい友達を探し対局を続けた。(10 局以上打つ子もいた)

事業費(A)	52,919 円
事業収入	0 円

支援金(B)	37,043 円
事業費に占める支援率(B/A)	70%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	30,000	4	チラシ送付代　等	5,640
2	消耗品費	8,658	1～4　合計(A)		52,919
3	チラシ・資料代	8,621			

効果

・囲碁を通して心理的な距離も縮まり、子どもたちの視野が広がり新しいチャレンジに繋がった。
・学校・学年を超えた友達ができた。

工夫したこと	まったく囲碁を知らない子が多かったので、わかりやすい説明と話しかけやすい雰囲気をこころがけた。自由対局の時間は席を移動して、自分たちで対局相手を探してもらった。「一緒にやろう」などという声かけから友だちづくりにつながった。保護者はどうしても自分の子どもの隣で見ているだけになりがちなので、スタッフが一緒に囲碁の説明をしたり、対局したりなどした。家に帰ってからも親子で楽しんでもらいたく紙製のミニ囲碁セットを持ち帰ってもらった。当日は中高生のボランティアさんも参加したので地域交流だけでなく、異世代交流にもつながった。

担当者より	3 年間にわたり、市民公益活動公募型支援事業を利用させて頂き、大変有意義な活動ができた。イベントは広報活動が一番難しいので、小学校などへの配布・配下のお手伝いをしていただけたのは非常に嬉しい。「囲碁」という普段なじみのないものに興味を持ち、参加していただいたこと。それが新しい世界と友だち作りへの一歩となったのではないかと思う。

講師の説明

プリントできた！

お父さんと対局

団体概要 「いごっちクラブ」は船橋市内の小学生を対象とした囲碁サークル。 ボランティアの先生と保護者の協力で運営。 船橋青少年会館の和室にて土曜日 9:30～11:30 に活動中（月 2 回）	
問合わせ先	氏名: 細根聡美　　e-mail: igocchiclub@yahoo.co.jp

団体名	むねあかどり		
事業名	『地域のHUB（ハブ）＝つなぎ役に』高齢社会・障害者福祉の学びと啓蒙	種別	Ⅰ型（3 年目）

準備中

団体名	ゴスペル・マムズ		
事業名	歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ	種別	Ⅰ型(3年目)

課題
・3年以上続いたコロナ禍で閉塞感をいだき人前で声を出すことが少なくなり、ストレスを抱えていたり、心身に不調をきたす方が多い

事業内容・目的

歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ

【目的】発声やリズム練習でリラックスし、歌の練習で声を出しリフレッシュしてもらい、ハーモニーが重なる喜びを感じてもらう

☑ いつ？　令和７年９月24日(水)
☑ どこで？　きららホール(市民文化創造館)
☑ 参加者は？　68名
☑ 参加者の様子は？
「久しぶりにお腹から大きな声を出して楽しかった」「リフレッシュできた」「元気が出た」など、満足いったとの声が多く寄せられた。

☑ 内容は？
①ストレッチ、リズム体操
②発声練習
③ゴスペル・マムズのデモ歌唱(課題曲)
④パートごとの音取り練習
（ソプラノ＆男声・メゾ・アルト）
⑤ゴスペル・マムズのミニライブ(3曲演奏)
⑥参加者とマムズによる全員合唱
⑦ステージでの合唱
⑧全員で記念撮影

事業費(A)	124,058円
事業収入	0円

支援金(B)	86,840円
事業費に占める支援率(B/A)	70%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼等	53,000	4	保険料	4,800
2	消耗品費	3,228	5	会場使用料	57,330
3	印刷製本費	5,700	1～5	合計(A)	124,058

効果
・練習した歌を歌ったり、好きな歌を歌ったり、音楽に耳を傾けることにより、気持ちが明るくなり前向きに過ごせるようになった。

工夫したこと	初めてゴスペルに触れる参加者もいると想定されたので、初心者でも取り組みやすい比較的簡単なゴスペル曲を課題曲とした。曲を仕上げるだけでなく、最後に参加者にステージに上がってもらい、ライブ形式で発表。実際にステージでパフォーマンスする楽しさを体感する場を設けた。

担当者より	今回の事業では、幅広い世代の多くの方に参加いただきました。事業後の参加者アンケートでは「久しぶりに歌って楽しかった」「大きな声で歌って気持ちがよかった」「元気になった」「歌と振付で楽しく体を動かせた」「大きなところでみんなで声を出すと本当に気持ちがいい」など、本事業に満足頂いた声が多く寄せられました。力強い歌声と感情豊かな表現が特徴のゴスペルを体感することによって、心も体もリフレッシュできたことに大きな成果を感じることができました。

④パートごとの音取り

⑦ステージでの合唱

⑧全員で記念撮影

団体概要		
2002年に船橋市塚田地区のママ友達で結成した女性ゴスペルサークル。 「世代を超えた交流」「地域での社会貢献」「女性の自己実現」を目的に、地域・世代を超えてメンバーが集まり活動しています。		
問合わせ先	氏名: 多田恵子	e-mail:gospelmums2002@gmail.com

団体名	はぐくみハグミー		
事業名	早めに知って損をしない、社労士から学ぶ障害年金ワークショップ	種別	Ⅰ型(2年目)

課題

・障害年金について知る機会がとても少なく、20歳になるまで殆ど情報を得ることができない
・多くの保護者から年金に関する不安の声があった

事業内容・目的

早めに知って損をしない、社労士から学ぶ障害年金ワークショップ
【目的】障害年金についてなるべく早い年齢期に知っていただき、事業を通して年金に関する不安や困りごとを解消する。

☑ いつ？
令和7年11月13日(木)
10時～11時30分
☑ どこで？ 二和公民館 第一集会室
☑ 参加者は？
知的・身体障害者の保護者 30名

☑ 講師は？
NPO法人みんなでサポートちば
☑ 内容は？
・障害年金の仕組みについての講話
・ワークショップ
・講師によるワークショップ資料の解説
・質疑応答

事業費(A)	41,322円
事業収入	9,000円

支援金(B)	32,322円
事業費に占める支援率(B/A)	78%

事業費内訳(単位:円)

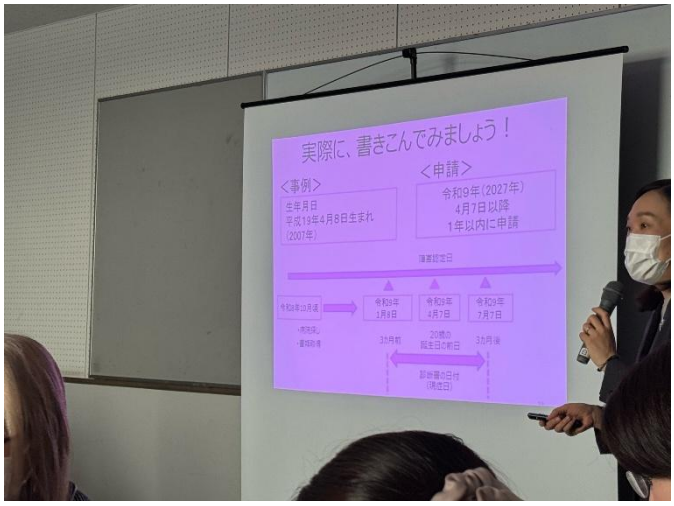
1	講師謝礼	10,000	4	会場使用料	495
2	インク・文具代	25,713	1～4 合計(A)		41,322
3	印刷製本費	5,114			

効果

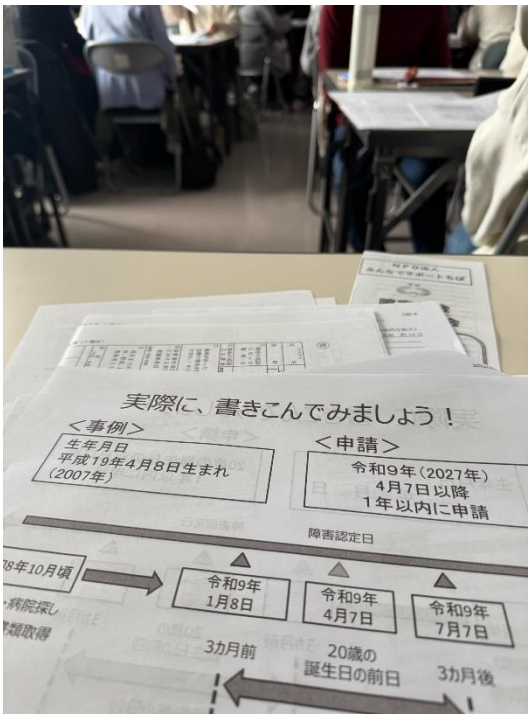
・ワークショップに参加し情報を得ることで、将来への安心材料、備えになる
・多くの保護者の知識、認識が上がり、将来貰いそびれや未手続きによる生活の不安定を感じる人が軽減される。

工夫したこと	これまでの活動の中で、障がい児・者の年金に関する不安の声が多かったことから、知っておくことの必要性を感じ、この度事業の計画、実施に至りました。チラシ配布後の数日で満席となり、キャンセル待ちや今後参加希望者が出るほどでした。ワークショップとして開催したことで、個人個人の年齢や状況によって未来を予想立てることができ、参加者の皆さんがとても真剣に参加され、質疑応答の時間には沢山の質問や意見がありました。今回の開催後に当団体の保護者経由で、支援学校でも同じような講座を開催する計画に繋がりました。たくさんの方に必要な事が届くことを嬉しく思っています。

担当者より	「障がい児・者を見守り支え合う地域社会の実現に向けて「未来」に繋げていく活動」が当団体の理念の一つです。この度は、これまでの保護者の声を元に必要性がある事業を実施致しました。継続して声を拾い上げること、必要とされている事を見極めて提供することの大切さを改めて感じました。船橋市の社会福祉全体の底上げを期待するにあたり、今年度も他団体とのコラボも継続できました。来年度以降も、事業所や地域の他団体の皆様とも協働しながら、また市役所と保護者の声を繋ぐパイプ役として、地域に根ざした活動をしていきます。



ワークショップ①



ワークショップ②

ワークショップ③

【団体概要】

発達障がい、ADHD、身体的障がい、ダウン症など、発達に不安のある子を持つ保護者で発足しました。多くの情報源を持つ保護者同士が繋がることで、将来への不安を少しでも軽減し、大きな声として問題提起をし、社会の仕組みや制度が改善されるよう働きかけ、子どもたちの未来の生活のしやすさを創って行きたいです。「今」だけの活動ではなく、障がい児・者を見守り支え合う地域社会の実現に向けて「未来」に繋げていく活動をしています。

問合わせ先	氏名: カワオト	e-mail: hagukumihagumii@gmail.com

団体名	丸山サンクチュアリ		
事業名	大切な市民の森を皆で守り育てよう！！	種別	Ⅰ型(2年目)

課題

・住宅地化等により昔からの雑木林や森が無くなってきており、残された貴重な森は、より良い状態に清掃・保全する必要があるが、市内での森の保全活動に携わることができる人材の高齢化により十分なケアができなくなりつつある

事業内容・目的

大切な市民の森を皆で守り育てよう！！

【目的】自然尊重と愛護の思想普及
市内での森の保全活動に携わることができる人材を増やす

☑ いつ？ 令和7年5月24日(土) 9:30-11:30

☑ どこで？
藤原市民の森緑地、丸山の森緑地

☑ 参加者は？ 29名

☑ 講師は？
平栗 瑞枝氏(自然観察指導員)

☑ 内容は？
・自然観察会の実施
・公民館での講義のあと、緑地をまわり、多くの花・木・鳥・動物・昆虫について、漢字名・由来・効能などの話を聞いた。
・こどもたちには観察カードを配り観察した花や虫などを記録してもらった

事業費(A)	21,279円
事業収入	0円

支援金(B)	17,023円
事業費に占める支援率(B/A)	80%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	15,000	4	保険料	1,000
2	消耗品費	329	5	会場使用料	495
3	チラシ代	4,455	1～5 合計(A)		21,279

効果

・参加者が講師の解説により森の動植物に関する学びを得たことで、森の保全の重要さ、森を守ることの大切さを理解し、主体的に環境保全活動に参加するきっかけとなった

工夫したこと	・両緑地には貴重な花や昆虫などが生息しており、これらを守っていくことの大切さを参加者の方に理解していただくため、平栗先生の花木の特徴・由来などの楽しいお話を通じて楽しく学んでいただくことを目指しました。 ・近隣の小学校、各公民館・図書館にチラシを配架し、広く市民の方々に参加していただけるように配慮しました。

担当者より	・当初はこども自然観察会としたが、小学校への配架では十分浸透しなかったためか、子供の参加が少なく途中から大人も含めての会にしました。皆さん、初夏と秋の自然の中で、平栗先生の花木の利用方法・名前の由来・関連した挿話などためになるお話が聞けとても充実した楽しい時間を過ごすことができました。次回は小学校全児童に配布する方法で周知徹底を図りたいと思います。

観察会の前に公民館で平栗先生による簡単なレクチャー

平栗先生の説明に熱心に耳を傾ける子ども達
観察カードも記入しています

虫好きのお母さんが見つけたナナフシを手にする子ども

団体概要：当会は1985年6月に設立され、あるがままの自然（聖域＝サンクチュアリ）の野鳥や植物に接して学びかつ楽しみ、自然尊重と愛護の考えに基づき健康で明るい社会の発展に役立つことを目的としています。藤原市民の森緑地と丸山の森緑地の貴重な森を皆さんが気持ちよく利用できるように、市からの委託を受け、ごみ拾い・清掃や草取りを中心に活動しています。できるだけ自然の状態を保つために、枝切りやはびこってきた外来植物も駆除しています。毎月の探鳥会も重要な活動です。

問合わせ先	氏名: 中村　篤	e-mail:anakamur555@gmail.com

団体名	ハーモニーship		
事業名	舞台にあがって、歌って踊って演じてみよう	種別	Ⅰ型(2年目)

課題

・学校行事での表現活動時間の減少
・異なる年齢の人とのコミュニティーが少なく、多様な考え方が困難
・子供だけでなく、大人も表現活動の場が必要

事業内容・目的

舞台にあがって、歌って踊って演じてみよう

【目的】プロの演出家やオペラ歌手の表現を感じ、演じることで心の動きや表現を考える

☑ いつ？　令和７年５月18日(土)
☑ どこで？　葛飾公民館　講堂
☑ 参加者は？
・参加者 34 名
・入場者 73 名
☑ 参加費は？
・参加者　1500 円
・入場者　500 円

☑ 講師は？
三浦　奈綾　氏（演出）
田中　大輝　氏（バスバリトン歌手）
光村　舞　氏（メゾソプラノ歌手）

☑ 内容は？
歌って演じる事で心の動きの表現について学ぶワークショップを実施した後、成果発表として、オペラ歌手によるコンサートに出演

事業費(A)	118,304 円
事業収入	87,500 円

支援金(B)	30,804 円
事業費に占める支援率(B/A)	26%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	62,500	4	保険料	6,326
2	消耗品費	548	5	会場使用料	21,940
3	チラシ代	26,990	1～5　合計(A)		118,304

効果

・演技、セリフ、歌、踊りを通して、表現することや協力することを学べた
・演技を考えることで相手の気持ちや、お客様からどう見えるかという客観的視点を育めた

工夫したこと	１日完結のワークショップ→発表(公演)にするため、台本や歌、踊りは予め資料や動画を送り、個人で練習しやすいようにしました。当日は、参加者の皆さんがとてもよく練習して来てくれたので、ワークショップもスムーズに進みました。 公演では、プロの歌や演技を同じ舞台で経験し、アンケートでは「とても楽しかった」という声を大変たくさんいただきました。 お客様もプロの歌や演技を聴けるということで、入場料を500円にしました。 団体の企画として、補助なく自立した開催のために、参加費と入場料をとり資金確保という試みをしまいした。

担当者より	参加者と公演入場者の満足度は、大変高かったので、企画の方向性としては概ね良いと思いました。参加者や聴衆の誘導やメールのやり取りに関しては、今後もう少し整える必要を感じています。また、補助なしでこのワークショップが開催できるよう、収入面の問題を解決していきたいと思います。

ワークショップ中　演技指導

歌と踊りの指導

公演中　歌と踊りのシーン

団体概要　ハーモニーship
私たちは舞台作りなどの活動の中で、世代や職業を超えた人々が関わり合う機会を設けています。さらに、このような機会を経て新たなる気づきを得られることを目指しています。
・オペレッタ公演
・五感で聴く絵本（大画面で見て、生演奏に合わせた絵本の読み聞かせ）
・子供向けワークショップ

問合わせ先	氏名: 篠原睦恵	e-mail:ozunomahou2023@gmail.com

団体名	新世紀美術協会千葉支部		
事業名	こどももおとなも楽しく描こうアート教室	種別	Ⅰ型(2年目)

課題

・デジタル教育の振興と共に、実際に手を動かして絵を描く楽しさを味わうことが少なくなっている
・布を張ったキャンパスに筆と絵の具で実際に絵を描く機会がなかなか無い

事業内容・目的

こどももおとなも楽しく描こうアート教室

【目的】身近なアート表現を知り、芸術に興味を持ってもらう

☑ いつ？　令和８年１月25日(日)

☑ どこで？

船橋市市民ギャラリー第3展示室

☑ 参加者は？

34名(未就学9人、小学生7人、中学生1人、30代8人、40代6人、60代3人)

☑ 講師は？　西口　昌代氏(船橋市美術連盟常任理事洋画部長)

☑ 内容は？

・参加者にキャンバスにアクリル絵の具で自由に絵を描いてもらう・

参加者の声は？

「なかなか体験できないアートで楽しめた」「子ども達がおもいっきり絵を描いて楽しんでいた」など前向きな言葉をいただいた。

事業費(A)	94,517円
事業収入	0円

支援金(B)	75,613円
事業費に占める支援率(B/A)	80%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	40,000	4	保険料	7,750
2	消耗品費及び原材料費	36,247	5	会場使用料	6,370
3	印刷製本費	4,150		1～5　合計(A)	94,517

効果

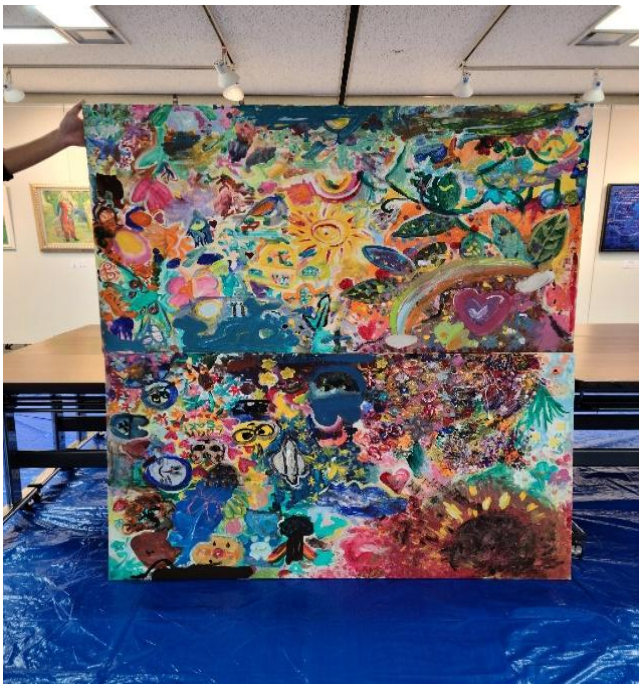
・身近なアート表現を知り、芸術に興味をもつきっかけとなった

工夫したこと	・完成した共同作品を千葉県立美術館で開催される「第 64 回新世紀美術協会千葉支部展(8/25～30)」に展示いたしますので、そのご案内をアピールした。 ・限られたスペースとはいえ、普段なかなか経験しない大きなキャンバスに筆をふるうのは、快感だと思います、是非味わってほしい経験です。

担当者より	・自分の作品でありながら、それぞれ自由に描くことにより、特にテーマが無いにもかかわらず、時間を追って共同作品として成り立っていく不思議を感じていただけたと思います。当日最後までは現地に居れずに完成形を見ることができなかった方も、県立美術館に展示されるのは楽しみだと思います。絵を描き、形に表れ、展示され、再度鑑賞するという一連の流れを楽しんでいただければ幸いです。せっかく素晴らしい千葉県立美術館があります、この機会に他の絵も鑑賞して欲しいと思います。

１歳児も何かを真剣に描いてます

ワークショップイベントの様子



そして共同作品が完成しました

団体概要

新世紀美術協会は、本年 5 月に公募展として第 70 回新世紀展を上野の東京都美術館にて開催しました。今年は全国 4 会場にて巡回展も開催しています。新世紀美術協会千葉支部は全国 11 個ある支部の一つです。毎年 1 月に船橋市民ギャラリーにて小品展を、8 月に千葉県立美術館にて支部展を開催しています。特にここに紹介しました船橋市民ギャラリーでの展示会において、船橋市からの支援を頂き、アート教室型ワークショップを開催しています。日頃よりアートを楽しむ環境作りに貢献したいと考えております。

問合わせ先	氏名: 太田邦彦	e-mail: cbm29546@nifty.com

団体名	みんなのための労働者協同組合		
事業名	みんきょう、ふなばしに起つ !! ー 1 周年記念映画会 ー	種別	Ⅰ型(1 年目)

課題

・地域の課題を地域の住民が主体となって、持続可能な事業という形で解決することを目指す
・事業を通じて社会貢献活動を行っていることを多くの人に知っていただき、自分たちの地域での課題の解決方法と一つとして組合とつながり合い、共に課題解決に向けた事業を展開してゆくための対話の

事業内容・目的

事業名:みんきょう、ふなばしに起つ !! －1 周年記念映画会 -

【目的】事業を通じて社会貢献活動を多くの人に知っていただき、地域の課題解決方法の一つとして組合とつながり合い、共に課題解決に向けた事業を展開していく

☑ いつ？ 令和 7 年8月9日(土)
☑ どこで？ 浜町公民館
☑ 参加者は？ 43名
船橋市内以外にも千葉県全域並びに都内からの参加者いた

☑ 内容は？
・映画“ワーカーズ被災地に起つ”の上映会
・千葉県内で活動する労働者協同組合 6 組合から活動紹介を行うトークイベントを実施

事業費(A)	76,415 円
事業収入	0 円

支援金(B)	**68,773 円**
事業費に占める支援率(B/A)	90%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	44,824 円	3	通信費	5,490 円
2	チラシ代	13,741 円	4	会場使用料	12,360 円
			1～4 合計(A)		76,415 円

効果

・市民の方と労働者協同組合の関係者が意見交換できる場を提供できた
・労働者協同組合の間で相互に交流する信頼関係が醸成された。

工夫したこと	これまでのイベントでつながりのある多くの方に案内を配信して参加者を集めた。 労働者協同組合は新しい働き方の形なので、それぞれの組合が活動している地域ごとの事情や地域課題に対応する活動を展開している。映画を通じて先進的な取り組みに関する情報を共有するとともに、地域性ごとの違いや共通する課題・問題を共に考える場づくりをすることができた。また国際労働組合年記念事業に認定していただき、全国的にも注目されるイベントになった。 今回の映画会を通じて組合同士の間の連携や地域の方とのつながりが広がった。

担当者より	一周年記念映画会では、一般の市民の参加者数は決して多くなかった。より多くの市民の方に協同労働として労働者協同組合の新しい働き方の形を紹介する機会をつくり出したいと思っています。特に仕事や働くということに関して考え始める中学生・高校生・大学生に協同労働という働き方を知ってもらえるような企画を検討しています。

映画会会場の写真

参加者とのトークイベント写真 1

参加者とのトークイベント写真 2

イベント公式ポスター

団体概要

みんなのための労働者協同組合（通称：みんきょう）は、千葉県船橋市を拠点に 2024 年 7 月に設立された労働者協同組合（ワーカーズコープ）です。営利のみを目的とせず、働く人々や地域住民が出資・経営・労働を一体化させる「協同労働」を通じて、地域の困りごとを仕事に変える活動を展開しています。

主な事業は多角的な 7 つの区分（地域貢献、教育、福祉、製造・出版、支援、交流、自主事業）から成り、以下のような地域に根ざした実践を行っています。

＊ **環境・エネルギー:** 放置竹林の整備と BDF（バイオディーゼル燃料）などの未利用資源を活かした燃料の開発、自転車発電による啓発活動。

＊ **福祉・居場所づくり:** 高齢者や住民が安心して集まれるコミュニティスペースの運営。

＊ **文化・社会教育:** 「若松寄席」や古典講座の運営、市民へ新しい働き方を提案する映画上映会・対話集会の開催。

船橋市の「市民公益活動公募型支援事業」や千葉県の環境助成事業に相次いで採択されるなど、行政や公的機関から公益性と信頼性の高い団体として認められており、青少年の夏のボランティア受け入れ先としても地域社会に大きく貢献しています。

問合わせ先	氏名: 谷合　哲行	e-mail:drtaniai@mx3.ttcn.ne.jp

団体名	千葉県親の会 Carry the Right and the Light 子どもの権利と輝きを伝えよう		
事業名	何が子どもたちの幸せを奪うのか	種別	Ⅰ型(1年目)

課題

・不登校や行きしぶりの子どもと保護者は、「孤立」や「不安」などの悩みを抱えている

事業内容・目的

事業名:何が子どもたちの幸せを奪うのか

【目的】「すべての子どもが安心して学べる社会と学校の実現」を目標に不登校や多様な子どもたちの学びを支える環境づくりに取り組む

☑ いつ？ 令和7年度7月26日
13:30～16:30

☑ どこで？
船橋情報ビジネス専門学校本館

☑ 参加者は？
保護者や教育関係者など70名以上

☑ 講師は？ 西郷 孝彦氏
（世田谷区立桜丘中学校元校長）

☑ 内容は？
講演会・交流会
講演後に交流会を実施し、関心ごとのテーブルに分かれ、西郷氏との対話により、実践に活かせる学びとつながりが生まれた。

事業費(A)	94,026 円
事業収入	0 円

支援金(B)	**78,588 円**
事業費に占める支援率(B/A)	84%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	52,000 円	3	チラシ代	33,239 円
2	消耗品費	8,787 円	1～3 合計(A)		94,026 円

効果

・不登校児童生徒数の増加に対する教育環境の改善を促す
・不登校の増加や多様な子どもの学びの在り方について参加者と共に考える機会となった

工夫したこと	講演だけで終わらせるのではなく、講演後に交流会を実施し、参加者が関心のあるテーマごとに対話できる場を設けました。保護者、教育関係者、支援者など立場を超えた交流により、それぞれの経験や実践を共有し、新たなつながりや今後の活動につながる機会となるよう工夫しました。また、チラシ配布や SNS を活用した広報を行い、多様な立場の方が参加しやすい周知に努めました。

担当者より	当日は70名を超える参加があり、不登校や多様な学びへの関心の高さを改めて実感しました。講演では、子どもの権利を尊重した学校づくりの実践を学び、交流会では参加者同士が悩みや経験を共有し、前向きな意見交換が行われました。今後も、子どもたちが安心して学べる環境づくりを目指し、保護者・教育関係者・地域がつながる機会を継続していきたいと考えています。

子どもの特性テーブルで交流する西郷先生

講演会の様子

交流会の様子

団体概要		
千葉県親の会 Carry the Right and the Light(子どもの権利と輝きを伝えよう)は、不登校、発達特性、いじめなどにより学校生活に困難を抱える子どもと保護者を支援する市民団体です。子どもの権利条約の理念に基づき、「すべての子どもが安心して学び、自分らしく成長できる社会」の実現を目指して活動しています。保護者同士の交流や相談支援、発達特性や子どもの権利に関する学習会・講演会の開催、教育関係者や行政との対話を通じた啓発活動を行っています。また、いじめ対策の強化や、多様な学びを経済的に支える教育バウチャー制度の導入などの政策提言を行い、市議会でも取り上げられるなど、子どもの最善の利益の実現に向けた社会づくりに取り組んでいます。		
問合わせ先	氏名: 鳥居佐織	e-mail:carryrlchiba@gmail.com

団体名	かけわたし		
事業名	「ふなばし 子ども・若者 まちづくりアクション・プラン」	種別	Ⅰ型(1年目)

課題

・こども若者の声が尊重され、まちづくりにこども若者も参入できる社会を目指す
・子ども・若者が安心して過ごせる居場所が少ない

事業内容・目的

事業名:「ふなばし 子ども・若者 まちづくりアクション・プラン」
【目的】「誰もが人との関わりを通じて自分を大切にすることができ、多様な主体が挑戦できる場づくり」

☑ いつ? 令和7年10月18日(土) 14:00～16:30
☑ どこで?
まいぷれBASE
(西船4-19-3 西船成島ビル3階)
☑ 参加者は? 11名
(中学生2名・20代1名・ファシリテーターの若者8名)

☑ 内容は?
「Express your own VIEWS' 船橋版を活用した体験型ワークショップ
・市内のランドマークを知るビンゴゲーム
・VIEWS' 船橋版の体験
・個人ワーク
(普段の生活で困っていることの書き出し)
・グループ内で困りごと、意見の共有

事業費(A)	88,586円
事業収入	0円

支援金(B)	79,727円
事業費に占める支援率(B/A)	90%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	50,000	4	会場使用料	6,000
2	消耗品費及び原材料費	16,143	1～4 合計(A)		88,586
3	チラシ代	16,443			

効果

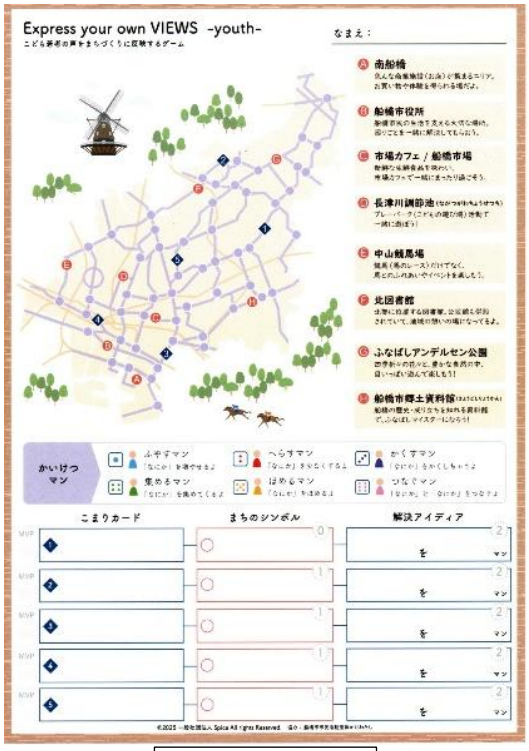
・困りごとを表明すること・誰かに頼ること・自分で解決すること、その視点を得るきっかけとなった
・こども若者が困りごとに対して自ら解決することができるようスキルを得るきっかけとなった

工夫したこと

①ワークで出た意見や悩みなどは単に話すだけでなく、ワークシートや付箋に起こすことによって、データとして蓄積できるようにした点。データとして残すことによって、こども若者の声をまちづくりに生かすことができる体制づくりとした。
②ワークのファシリテーターを少し年上の若者にすることで、安心して日頃の悩みやまちの課題などを話すことができる環境を整えた点。
③ 市内の各所のランドマーク(文化・スポーツ・公共施設など様々なジャンルから選定)を選定し、参加者にとって市内のことを知ってもらうきっかけづくりとし、市内への愛着作りを図った点。
④補助金をイベントに係る経費ではなく、VIEWSの製作費に充てた点。単発のイベントで終わらないよう、今後も継続して市内での別のイベントで使用できるようにした。

担当者より

こども若者のリアルな声を聴くことができる場、発信できる場がとても限られていることを課題として考え、こども若者がまちづくりに当たり前に参画できる社会を目指して、今回の事業を計画した。しかし、参加者の集客に苦労し、こどもたちにとって「まちづくり」というワードがハードルになっていることを感じる事業となった。
しかし、ワークに参加してくれたこどもたちの声にはとてもリアルな悩みなども含まれており、ゲーム×同年代の若者が主体×まちづくり、という組み合わせが、こども若者×まちづくりを実現するきっかけとして有効に働く手ごたえを感じる事業となった。
「こども若者が当たり前にまちづくりに参画する社会の実現」への第一歩として、今後もVIEWSというゲームを通した「楽しい×まちづくり」を広げていきたい。



ワークシート

イベントチラシ

ワークに取り組む参加者

イベント全体の様子

団体概要	
私たちは千葉県船橋市を中心に、「子ども・若者の居場所・きっかけ・主体性づくり」を軸とした「多様な主体が主役として活躍する地域づくり」を念頭に活動を行っています。活動を通して、地域に「人との出逢い」や興味関心、自分を好きになれるような「きっかけ」との「つながり/かけわたし役」を目指します。 【具体的な活動】 ★みんな食堂（こども食堂） ★プレーパーク（こどものあそび場づくり） ★哲学カフェ/哲学対話	
問合わせ先	氏名: 神井秋人　　e-mail: kakewatashi.info@gmail.com

団体名	NPO 法人　住管センター		
事業名	マンション防災セミナー	種別	Ⅰ型(1 年目)

課題

・近年地震等が頻繁に起こるようになり、被災時の対応について理解する必要がある。

事業内容・目的

事業名：マンション防災セミナー

【目的】マンション住民の防災意識への向上や住民相互の被災時の助け合いなどについて知ってもらうことでより快適で安心なマンション生活を送ってもらう。

☑ いつ？　令和7年8月31日

☑ どこで？　船橋勤労市民センター

☑ 参加者は？

マンション役員・防災委員　14 名

☑ 内容は？

安全に災害を乗り越えていくためのマニュアルを作成する大切さを学ぶセミナー

住民同士だけでなく、近隣や行政とのコミュニケーションを図る大切さにも触れる内容となった。

事業費(A)	40,702 円
事業収入	0 円

支援金(B)	36,631 円
事業費に占める支援率(B/A)	90%

事業費内訳(単位:円)

1	消耗品費	1,882	3	会場使用料	2,972
2	印刷製本費	35,848	1～3　合計(A)		40,702

効果

・安全に災害を乗り越えていくためのマニュアルを作成する大切さを伝えられた。

・災害時だけでなく平時から住民だけでなく、近隣や行政とコミュニケーションを図る大切さを伝えられた。

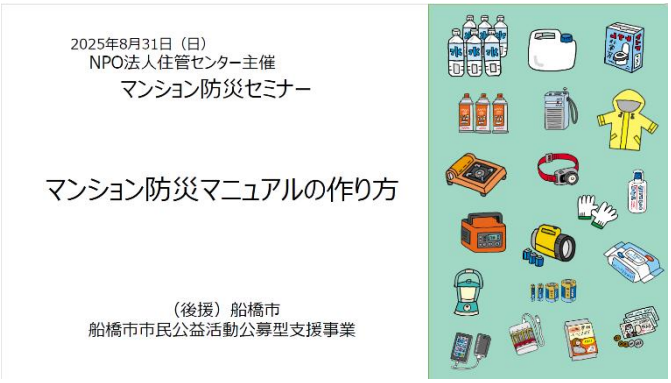
工夫したこと	首都直下地震の被害想定など具体的なデータや身近なイラストを用いて、発災後に起こりうる状況をイメージしやすく解説した。 「災害時対応マニュアル」と「居住者向け防災マニュアル」を分けて作成する考え方を示し、アクションカードや実際の防災訓練の写真を交えながら、管理組合が無理なく取り組める防災体制づくりのポイントを伝えた。 船橋市の自主防災組織結成・活動補助金制度も紹介し、参加者が今後の活動に活かせる情報を提供した。

担当者より	マンション管理士・防災士としての知見をもとに、管理組合の実情に即した無理のない防災対策の考え方を分かりやすく伝えていただき、参加者から高い評価をいただいた。

当センター理事長挨拶

講師の挨拶

セミナーの最中



団体概要

名称：特定非営利活動法人　集合住宅等管理支援センター（略称：NPO 法人　住管センター）
所在地：千葉県船橋市印内町 603-1　田中ビル 621（西船橋駅南口から徒歩 1 分）
電話：047-420-3307　FAX：047-420-3308
HP：http://www.jyuukan-center.com
設立：平成 15 年 8 月　認証：千葉県知事認証

問合わせ先	氏名：森永　美幸	e-mail:info@jyuukan-center.com

団体名	船橋市民ミュージカル・カンパニー		
事業名	歌って踊って演技しよう！　初めての「ミュージカル」体験	種別	Ⅱ型(1 年目)

課題

・コロナの影響による人間関係の疎遠化、家庭環境による子どもの体験格差が生じている

事業内容・目的

事業名：歌って踊って演技しよう！　初めての「ミュージカル」体験

【目的】ミュージカルを通して地域の活性化を図り、地域全体で協力し合う豊かな地域共生社会づくり

☑ いつ？

令和7年5月　8月(各月 4 週連続実施)

☑ どこで？

中央公民館(5月)、宮本公民館(8月)

☑ 講師は？

演技講師：関　聡太郎氏
(尚美学園大学教授、元劇団四季)

ダンス講師：石井　陽子氏
(ブレスパフォーミングアーツ代表、元劇団四季)

声楽講師：馬場上みほ氏(AKB ミュージカル、キャラクターショーMC 等出演)

☑ 参加者は？

延べ153名(子ども21名、大人132名)

☑ 内容は？

専門講師を招き、ミュージカルに必要な演技・歌唱・ダンスの基礎を学びながら 15 分程の舞台作品を創り上げる全4回のワークショップ

※4 週連続で実施

事業費(A)	271,407 円
事業収入	6,800 円

支援金(B)	**162,844 円**
事業費に占める支援率(B/A)	60%

事業費内訳(単位：円)

1	報償費	240,000	4	会場使用料	10,785
2	消耗品費及び原材料費	1,940	5	保険料	8,428
3	チラシ代	10,254	1～5　合計(A)		271,407

効果

・参加者の「自分を表現する喜び」「達成感」「自己肯定感」が高められた。

・小学2年生から80代までが目標に向け共に稽古をすることで、世代を超えた交流、協調性、社会性が養われた

工夫したこと	ワークショップで使用される歌唱曲のガイド歌唱音源、カラオケ、及びダンス曲の振付動画を作成、自宅練習に活用していただき、大変好評でした。

担当者より	ワークショップの題材として「不思議なアヒルの子」(アンデルセン原作　みにくいアヒルの子)を取り上げ、「歌って踊って演技する」ミュージカルの魅力を体験すると共に、「自己発見と成長」という原作のテーマを学ぶことが出来ました。

令和 7 年 5 月 11 日レッスン

令和 7 年 8 月 24 日発表会

団体概要	
参加される皆様と力を合わせたミュージカルの制作・公演を目指しています。 舞台で演じたい方、脚本を書きたい方、衣裳を作りたい方、何かしらお手伝いをしたい方・・・どなたでも、経験がなくても、参加出来ます。一緒に一つの舞台を創りましょう！ 詳しくはホームページをご覧ください。 検索　船橋市民ミュージカル・カンパニー	
問合わせ先	氏名: 佐孝　康夫　　e-mail: fmc117117@gmail.com

これまでの交付実績
（平成 22 年度～令和 7 年度）

補助金を使って事業を実施した団体と事業の一覧です。分野ごとに掲載していますので、過去の事例を参考に、本制度の活用を検討していただけると幸いです。

各事業の詳細は、過去の事例集をご覧ください。

過去の事例集（市 HP にリンクしています。） ※「H○○、R○」は実施年度を示します。

H22　H23　H24　H25　H26　H27

H28　H29　H30　R1　R2　R3

R4　R5　R6　R7

1　保健、医療又は福祉の増進

団体名	事業名	実施年度			
船橋市手話サークル　さざんか	ひろげよう“手話の輪”！聞こえない人たちも暮らしやすい船橋に	H30			
NPO法人生き方応援団ララ	心のバリアフリーで船橋をモデル都市に！障がい福祉事業	H28			
ふれあい船橋	触れ合うことによるコミュニケーションの提案事業	H27	H28		
公益社団法人船橋地域福祉・介護・医療推進機構	「食と健康」に関するシンポジウムの開催	H22	H23	H24	H25
	船橋地域福祉相談会 「船橋福祉塾」	H26			
NPO法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋	知的障害者と家族等の権利擁護と成年後見制度の相談と支援事業	H23	H24	H25	H26
NPO法人　船橋ウォーキング・ソサイエティ	市民の為の各種ウォーキング体験会にて、健康増進活動推進事業	H23	H24	H25	H26
オアシス家族会	精神障害者を抱える家族に対する支援事業	H24	H25	H26	

団体名	事業名	実施年度			
特定非営利活動法人　千葉県中途失聴者・難聴者協会	文字を生かしてコミュニケーション「筆談を学ぼう」講座	H24	H25	H26	
市民後見センターちば・船橋	成年後見制度を広く船橋市民に広め、市民後見人を養成する事業	H23	H24	H25	
プレシャスライフ倶楽部	粋・活き健康生活づくりですこやか船橋！市民協働の健康とまちづくり事業	H24			
NPO 法人シニア・システム協議会	中・高齢者のためのマナトモ大学で生涯学習をたのしもう	H22			
Smile 船橋ビンちゃんと	笑いヨガ講座	R2			
船橋行田公園走友会	第 30 回　船橋行田公園 100 ㎞リレーマラソン大会	R3	R4	R5	
NPO法人発達障害支援ネットYELL	発達障害に関する講演会	R3	R4	R5	
一般社団法人　マザーナース　オリーブ	スマイル！ママ笑って♡～医療者による子育てイベント～	R4	R5		
スペシャルキッズプロジェクト	スペシャルキッズプロジェクト vol.12 和太鼓ワークショップ	R5	R6	R7	
MOA 健康生活ネットワーク船橋	一輪の花を生けるために空き缶を使ったリサイクル花器づくり	R5			
むねあかどり	『地域の HUB（ハブ）＝つなぎ役に』高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。	R5	R6	R7	
NPO 法人　千葉県中途失聴者・難聴者協会東葛南事務所　船橋友の会	難聴者と会話しやすくなるコミュニケーション講座	R5			
はぐくみハグミー	障がい児と家族のための避難所づくりワークショップ	R5	R6	R7	
特定非営利活動法人終活支援センター千葉	明日からの人生を生き生き過ごすために“終活”を楽しく学びましょう	R6			
船橋市聴覚障害者協会	「ヒゲの校長」上映会	R6			
NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア	折れない心を育てるいのちの授業～半径 5 メートルの人と幸せに暮らせる地域を目指して～	R6			
明治大学校友会　船橋地域支部	「心のリハビリ・心の栄養づくり」～コミュニケーション講演会	R6			

2　社会教育の推進

団体名	事業名	実施年度			
正伯塾	ふなばし郷土史講座	H27			
“伝えよう船橋”の会	船橋かるたによる、子供の健全育成を図る活動及び住みよい魅力あるまちづくり推進	H24	H25	H26	H27
Carry The Right And The Light 子どもの権利と輝きを伝えよう	何が子どもたちの幸せを奪うのか	R7			

3　まちづくりの推進

団体名	事業名	実施年度			
丸山を元気にする会	周辺農家、大学生、専門家と連携した魅力的な船橋市丸山地域づくり事業	H27			
船橋金杉 club	地域友好促進支援サポート事業	H22			
街に花と緑の会	前原西2丁目花と緑のまちづくり活動	H23	H24	H25	H26
ふるさとまちづくりの会	お休みどころ「かつしか」の設置	H22			
ふなばしっぷ海遊創生協議会	「船橋お散歩海道」プロジェクト	H22	H23		
船橋美し学園街づくり館運営協議会	坪井地区（船橋美し学園）コミュニティ自立推進活動	H22			
みんなのための労働者協同組合	みんきょう、ふなばしに起つ !! －1 周年記念映画会 -	R7			

6　学術、文化、芸術又はスポーツの振興

団体名	事業名	実施年度			
船橋の民話をきく会	子ども達に船橋の民話を、のこす・つたえる・ひろめる・とどける事業	R1			
船橋障害者スポーツ・レクリエーション協会	船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進	H24	H25	H26	H27
千葉　桃の会	世代を超えてみんなで唱歌・童謡を歌おう	H23	H24	H25	H26
船橋古文書の会	読んでみませんか！古文書講座（初級編）	R3	R4	R5	
NPO法人　囲碁文化継承の会	囲碁交流による健全な児童、健全な家庭、潤いのある地域社会づくり事業	H22	H23	H24	
湖紫萠花のサークル	伝統文化　子どもたちのいけ花教室	H22	H23		
自遊時感工房	地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の促進！	H22	H23		
二和劇場ボランティア実行委員会	市民が創る二和劇場　初笑い二和寄席	H22			
千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部	社交ダンススポーツの普及活動	R5			
ゴスペル・マムズ	「歌ってハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ」	R5	R6	R7	
童謡文化の会	童謡・唱歌を歌って学ぼう！パートⅡ	R5	R6		
ハーモニーship	舞台にあがって、歌って踊って演じてみよう	R6	R7		
新世紀美術協会千葉支部	こどももおとなも楽しく描こうアート教室	R6	R7		
船橋市民ミュージカル・カンパニー	歌って踊って演技しよう！　初めての「ミュージカル」体験	R7			

7 環境の保全

団体名	事業名	実施年度			
NPO 法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	H28	H29	H30	
アースドクターふなばし	～次世代を担う子どもたちに向けて～地球温暖化防止・啓発事業	H29			
三番瀬写真展実行委員会	第4回みんなの三番瀬写真	H27	H28	H29	
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬・東京湾のお魚・生き物出前授業	H27	H28		
フィールドミュージアム・三番瀬の会	三番瀬をフィールドとし、生き物の生物生態系や自然環境の循環を学び、市民としてまちづくりに貢献する事業	H23	H24	H25	H27
坪井湿地を復活する会	坪井のヘイケボタル復活計画	H24	H25	H26	H27
三番瀬カレンダー制作実行委員会	三番瀬カレンダー制作	H24	H25	H26	
丸山サンクチュアリ	大切な市民の森を皆で守り育てよう！！	R6	R7		
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬食文化出前講座	H22	H23	H24	H25
ふなばし木の子の森	ふなばし木の子の森：わんぱく講座	H24			
NPO法人　環境を考える市民の会	市民と育む海老川うるおい創生活動	H22	H23	H24	
アースドクターふなばし	めざすはストップ地球温暖化	H22			
塚田環境フェア2010実行委員会	塚田環境フェア2010と15周年事業	H22			
特定非営利活動法人　環境カウンセラー千葉県協議会	「うちエコ診断」で、身近なところから地球温暖化防止活動に参加しよう！	R4			
ぐるっと交換会	ぐるっと交換会+講演会「衣服のゆくえ～廃棄服はどこにいく？～」	R6			

8 災害救援

団体名	事業名	実施年度			
NPO法人シビルまちづくりステーション　船橋防災関連プロジェクトチーム	「土砂災害から身をまもる」に関する調査・提言、知識普及および広報事業	H25	H26	H27	
船橋 SL ネットワーク	いざ災害！！わが身わが命は自分でまもる	H22	H23	H24	
NPO 法人住管センター	マンション防災セミナー	R7			

9　地域安全

団体名	事業名	実施年度			
船橋東交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全広報・啓発活動事業	H22	H23	H24	
(社)船橋交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全及び啓発活動	H22	H23	H24	
自転車運転マナー推進委員会	公道走行に於ける自転車安全マナー実践教室開催	H22	H23	H24	

10　人権の擁護又は平和の推進

団体名	事業名	実施年度			
原爆の絵展・平和のつどい実行委員会	平和啓発事業	H22	H23	H24	

11　国際協力

団体名	事業名	実施年度			
船橋英語連盟	船橋市が国際都市にふさわしい親善や交流を行える資質のある市民を増やす。船橋市民として英語を通して国際感覚、外国人とのコミュニケーション力を身につける。	H24	H25	H26	
フェアトレードちば	フェアトレードちばを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施	R3	R4		

12　男女共同参画社会の形成

団体名	事業名	実施年度			
船橋パパ会	「家族で子育てを楽しむ地域づくり～パパが変われば地域が変わる～」	H30			
船橋ワーキングマザーの会	働く/働きたいママのための地域コミュニティ	H25	H26	H27	H28
NPO 法人 JASH 日本性の健康協会	船橋にも多様な性を語れる交流会を！	R2	R3	R4	

13　子供の健全育成・子育て支援

団体名	事業名	実施年度			
子ども食堂　こっこ	こっこが街にやってくる＆こっこで学ぼう	H30	R1		
ワーカーズコープちば	制服バンク	H29	H30	R1	
親業ひまわりの会	心と心のかけ橋を作る、コミュニケーションの基本を学び広める公益活動	H25	H27	H28	
夢を育てるキャリア教育の会	「自分らしく生きる力を～」夢を育てるキャリア教育の推進・普及活動とキャリア教育支援活動事業	H27			

団体名	事業名	実施年度			
NPO法人　くーおん	「からだつくりを通じて心を育てる」運動が苦手な子への運動サポート事業	H25			
M あんどB	読書活動の一環として子どもの人形劇講座	H24			
0・2歳児親子遊び「かしの木会」	0・2歳児親子遊び事業「どんぐり会」「ジーバー会」	H22	H23	H24	
西船保育園父母会	孤独な育児に対してのアプローチ『ひとりぼっちで悩むのはやめよう』虐待防止に対してのアプローチ『子育てを大いに楽しもう』	H23			
パートナーズオブライフ	高齢者が生き生き人生を全うするための協働支援事業	H22			
プレーパーク船橋	講演会「子どもたちの遊びの世界」	R2			
	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～	R3	R4		
いごっちクラブ	「囲碁で友だちの輪をつくろう！」	R5	R6	R7	
NPO 法人 ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク	講演会＆相談会「どうする不登校・ひきこもり～子どもとともに生きる PartⅡ～」	R6			
特定非営利活動法人人財育成支援センター	wkwkカメラであそぼ！　親子で撮影・自己表現体験講座	R6			
特定非営利活動法人コハレ LABO	ふなばし子ども食堂フェスティバル ～地域に飛び込み笑顔を増やそう～	R6			
かけわたし	「ふなばし 子ども・若者 まちづくりアクション・プラン」	R7			

16　経済活動の活性化

団体名	事業名	実施年度			
船橋漁港の朝市委員会	みんなおいでよ！船橋漁港の朝市	H24	H25	H26	H27
丸山を元気にする会	丸山を元気にしよう！朝市・夕市の開催＆丸山ひまわり110番を探せ！ハロウィンウォークラリーイベント開催	H22	H24	H26	
ふなばし街歩きネットワーク	船橋市における街案内ボランティア組織と活動の創出および人材育成事業	H22	H24	H25	
NPO法人　ベイプランアソシエイツ	船橋新交通・渡船 FunabaSeaBus（水上バス）	H22			
船橋商工会議所青年部	市民・来訪者が求める船橋市のアンケート調査事業	H22			

19　NPO支援

団体名	事業名	実施年度			
市民協働推進連絡会	市民活動の活性化へのサポート	H24	H25		

21 その他

団体名	事業名	実施年度			
船橋市援農クラブ	農業ボランティア事業	H26	H27	H28	H29
船橋納税貯蓄組合連合会	租税納付及び広報活動関連事業	H22			

船橋市　市民生活部　市民協働課

〒273－0011　船橋市湊町2－10－18

TEL：047－436－3201

FAX：047－436－3063

E-mail：shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp